



CREATE HOPE
in the WORLD

志木ロータリークラブ

2023-24年度 国際ロータリー 会長 ゴードン R. マッキナリー 「世界に希望を生み出そう」
2023-24年度 第2570地区 ガバナー 高丹 秀篤 「希望を語ろう -We are Rotary, together-」
2023-24年度 志木ロータリークラブ 会長 市之瀬 正靖 「調和」

第2378回 移動例会

2023-10-18

- ◎司会 金剛 光裕 副会長
- ◎点鐘 市之瀬 正靖 会長
- ◎ソング 我等の生業
- ◎ソングリーダー 榎本 秀夫 副SAA
- ◎四つのテスト 榎本 秀夫 副SAA
- ◎ゲスト 金子 博一様(志木市教育委員会)
- ◎ビジター 鈴木 早苗様(和光 RC 会長)



故志村武一郎会員を偲んで黙祷



ソングリーダー榎本秀夫副 SAA

近ごろは、例会にお見えになることが少なくお会いすることが出来ませんでした。今回発行した会報に、志村武一郎会員を偲び第1292回例会会報より当時の会長挨拶を掲載させて頂きました。この内容の中に「今日の日は、二度とない。学校も、会社もみな一期一会なのです。偶然の出会いの積み重ねが私たちの個性をつくり、人を作っていくことを思うとき、温かいものを残し別れ、喜んで迎えてくれる出会いが始まる…」とあります。志村武一郎会員の「一期一会」について思いをはせながらご冥福をお祈りしたいと思います。また原会員には、志村さんのお人柄を垣間見る追悼文を寄せて頂きありがとうございました。

さて10月24日は、世界ポリオデーです。「世界が一つになりポリオの根絶を応援しましょう」という日です。「ポリオ」と聞いて生ワクチンや不活化ワクチンを思い出す会員の方もいると思います。日本では、生後2ヶ月からワクチン接種が始まり12ヶ月までに3回接種・12ヶ月から18ヶ月のうちに1回接

「会長挨拶」

会長 市之瀬正靖

皆さんこんにちは。志村会員の突然の訃報におどろいた会員の方も多かったと思います。

種で計4回行われています。このことにより日本では、1980年の1例を最後に感染者は出ていません。現在全世界では、2022年の統計で、アフガニスタンで2例、パキスタンで20例の発症件数となり、1988年以降99.9%まで症例は減少しています。この活動を進め世界からポリオをなくすことで、感染により手足に麻痺が残り、その後の生活に不自由な生活を強いられる人たちが現れなくなることを望みます。最近の志木クラブでは、林会員の会長年度に、END POLIO NOWのTシャツを作り暖かい時の対外事業の時に着てポリオ撲滅活動のPRに活用していたことを思い出しました。どこかのタイミングでTシャツを着てPR出来ればと思います。

本日は、志木市施行20周年事業から始まりました、いろは子ども文化賞の選考会となります。今年度は、どんな作品が選ばれるか楽しみです。厳正な審査をお願い致します。

最後になりましたが、今日志木クラブに新しい仲間が誕生します。後ほど新入会員高嶋さんの入会式を執り行いますので宜しくお願い致します。以上で会長挨拶とします。

「幹事報告」

幹事 上野剛彦



1. 日本事務局より日経広告掲載事業・中間報告と御礼受信
2. 地区事務所より3件受信
 - ①公共イメージ委員会バッジについて
 - ②甕れ 2570 プロジェクト「大相撲初場所 13日目観戦」案内
 - ③第45回バギオ訪問交流の旅募集要項
3. 志木市川と街をきれいにする運動推進協議会より「親と子の市内まるごとクリーン

作戦 PART2 川辺の清掃」に関する防災行政無線の放送について受信

4. 志木市市政功労者表彰式について受信
5. ハイライトよねやま Vol.283 2023.10.3.

「公共イメージ委員会へのバッジ贈呈」

会長 市之瀬正靖



「入会式」

会長 市之瀬正靖



高嶋 英一(62歳)
大東ガス(株) 代表取締役

「委員会報告」

●社会奉仕委員会

委員長 宮田泰彦



川と街をきれいにする運動のおしらせ

日時：10月22日(日) 午前8:30受付
開始9:00～ 1時間程度の例会です
皆様のご協力を頂きながら安全に行いたい
と思いますので宜しくお願い致します。

『ロータリーの友』記事紹介

雑誌委員会 委員 原 孝一



『ロータリーの友』10月号記事紹介

【横組】

P7 児童養護施設出身の若者達の自立にロータリーで手を貸そう

P15 米山月間特集として「米山学友世界大会」の紹介

P24 次年度国際大会開催地シンガポールの紹介

P46.47 世界ポリオデー(10/24)ロータリーの力でポリオをゼロにしよう

【縦組】

P4 企業による障害者雇用の取り組み「特例小会社」について

第22回志木市いろは子ども文化賞 「美術部門」審査会

「卓 話」

「令和5年度いろは子ども文化賞

美術部門審査会にあたり」

志木市教育委員会学校教育課
指導主事 金子博一様

本日は志木ロータリークラブ例会の開催に際して、志木市教育委員会を代表して、ご挨拶申し上げます。

市之瀬正靖会長様をはじめ、志木ロータリークラブ会員の皆様には、日頃より、本市の



教育に様々なご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。

また、いろは子ども文化賞に関しても、特段のご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。

いろは子ども文化賞は、志木の子どもたちに「ふるさとを愛し、見つめ、大切に作る心」を養い、「豊かな感性、表現力、創造性を育む」ために、平成14年4月に創設されました。おかげさまをもちまして、今年度で22回目を迎えることができました。

今年度のテーマは「夢」「絆」に加え「志木の魅力」とし、新たに詩や俳句などの作品を対象とする「ポエム部門」と「志木の魅力発見」にちなんだ地理、歴史、科学などの作品を対象とする「研究部門」を設けました。

作文部門 36点、

研究部門 59点、

ポエム部門 169点、

美術部門 140点、

そして田子山富士塚部門 343点

総計747点の応募がありました。

これまで、志木ロータリークラブをはじめとします地域の方々のご協力により、いろは子ども文化賞「美術部門」の優秀作品は、「ふるさと絵画集」という形で広く市民に親しまれてまいりました。

こうした作品集は、児童・生徒や保護者の方々にとりましても、大きな励みになるとともに、志木市内の小中学校図工・美術教育の発展にも大きな力となっております。

さて、今年度は、11月3日、4日、5日に行われる市民文化祭と共催で、いろは子ども

第2570地区 第2グループ各RC 例会日・会場・事務局一覧 (順不同)

■朝霞RC 毎週(火) 12:30~13:30 埼玉りそな銀行朝霞支店

■新座こぶしRC 第1第3(水) 12:30~13:30 ベルセゾン

事務局 048-466-3770

事務局 090-1551-8380

2378-3◇

志木RC会報

文化賞受賞作品の展示を行うことになりました。

例年、市民文化祭には、多くの市民の方々が足をお運びくださいます。

ご家族で受賞作品を鑑賞される方も大変多く、作品を見ながら互いに会話を弾ませるなかで、ますます「ふるさとを愛し、見つめ、大切に作る心」が育まれていくことと期待しております。

皆様におかれましても、作品展の様子をご覧いただくと幸いです。

さて、これより志木ロータリークラブの皆様、いろは子ども美術部門作品のご審査をお願いいたしますが、ここに選ばれた作品は、子どもたちの目線で「ふるさと志木」を見つめたものや、「夢」・「絆」をテーマに、想像豊かに表現された、優劣つけがたい作品ばかりでございます。

志木市の子どもたちの夢や絆を感じていただきながら、ご審査いただければ幸いです。

結びにあたり、いろは子ども文化賞や学校での図工、美術教育を通して、心豊かな児童生徒を育むため、今後とも、皆様のご支援、ご協力を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。



最優秀賞は後日、志木市より発表・表彰されます



例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

◇2378-4
志木 RC 会報

■新座RC 毎週(木) 12:30~13:30 ベルセゾン
■富士見RC 毎週(金) 12:30~13:30 島田ビル1F

事務局 048-473-7041
事務局 049-251-6596



●出席報告 出席向上 委員長 武藤典夫

会員数50名 出席義務者47名 免除者3名

本日出席	本日欠席	本日出席率
48名	2名	97.96%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(4名中0名)	95.83%	88.81%

志村武一郎会員を偲んで



R C 歴

1939.5.23.-2023.10.6. (84歳)

職業分類 ゴルフ場(株)志村

1976年6月 入会

1997~1998年 第26代会長

会長テーマ「新しい“うごき”にひびきたい」

1997年 ベネファクター

1989年 マルチプル米山功労者(4回目)

1995年 米山準功労法人(株)志村

「訃報をお聞きして」 原 孝一会員

志村武一郎さんがご逝去されたという。元ロータリアンの友人から訃報が飛びこんでき

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

■和光 21 幸魂ロータリー衛星クラブ 第2第4(土) 13:00~ 和光市中央公民館 事務局 048-465-0088

志村武一郎会員を偲んで

た。あんなに健康に気を付けておられたのに。

「原さんこれを飲んでいれば健康間違いなし」と以前から愛飲されていたプロポリスのサプリを勧めてくれたのはもうしばらく前のことだった。その時の志村さんのニコニコ顔が思い出される。

例会場でもお仕事の場でも、いつも柔和で、笑顔を絶やすことのない志村さんだった。こしばらくお会いする機会が無かったが、体調を崩されていたとは思ひもしなかった。

「さようなら志村さん」

ご生前のご厚誼に深く感謝すると共に、心よりご冥福をお祈りする次第です。

1998年3月18日(志村武一郎会長年度) 第1292回例会会報より再録

「会長挨拶」

会長 志村武一郎

この時期、遅いところでも卒業式を迎えました。なれ親しんだ古巣を去る一抹の淋しさが残ります。幸せな出会いをたくさん重ねての巣立ちであって欲しいと思います。そして、また次の社会に向かつての出発となるのですが、よい出会いがもて、色々な経験を積んでほしいと願います。

人生なんて出会いによって成り立っているのではないかと思われるほどに、あのことも、このことも、願わなくとも人との出会いによって「今」が形成されてしまったのではないかと不思議な感じがします。例えば、学校、会社にしても一つの集団が用意されていて、その中から友をつくってゆくわけですから、偶然の出会いによって友ができたのです。時には一生の伴侶もこの出会いがあったから結ばれたのです。自分の意志によって人生を開拓したといいますが、その前にいい出会いがあったからです。会うごとにいい話が聞け

る幸せを与えてくれる人「あんな楽しい時はなかったね」という至極の時が持てた。これが一番の幸せな出会いでしょう。

茶の世界で使われ続けてきた言葉に「一期一会」というのがありますが、今では、小学生でも口にするくらい、日常語になってきました。メディアからの普及でしょうが。一生のうちで一度しか会えない。心を尽くして迎えよう。客はいい出会いになるように亭主の心を汲み取ろう。どうも、仏教思想から出た言葉のようですが、今の時代にどうして受け入れられたのでしょうか。このことばをよく口にしたのは桜田門外の変(1860、万延元年3月3日)で殺された井伊直弼だといひます。彼は幾度、同じ人と会を持って今日という日は再びない。我が世一世一度である。客も亭主の心に響きたいと誠意をもって交わらなければなりません。なにも茶会に限ったことではない。このような思いが今、共感を得てこの言葉が使われ出したのだと思います。私達が今日ここに、このような会を持っていますが、今日の日は二度とない。学校も、会社もみな一期一会なのです。

偶然の出会いの積み重ねが私達の個性をつくり、人を作っていくことを思うとき、温かいものを残して別れ、喜んで迎えてくれる出会いが始まることをこの時季にいつも思います。



2010.2.17.

志木ロータリークラブ

会長/市之瀬正靖 副会長/金剛光裕 幹事/上野剛彦

会報委員会 委員長/塩野 章 副委員長/影山和良

委員/清水和之 田中幸彦 古田征也 鈴木 忍 山田大智 鴨下秀幸 高橋 良